

(3) 条例認知の手段

① 子ども

年代別に見ると、小学生世代・中学生世代・高校生世代ともに、「学校で配布されたパンフレット」「学校の先生の話」をあげる回答が高い。ただし、年代があがるにしたがい、「学校の先生の話」をあげる割合は低くなっている。

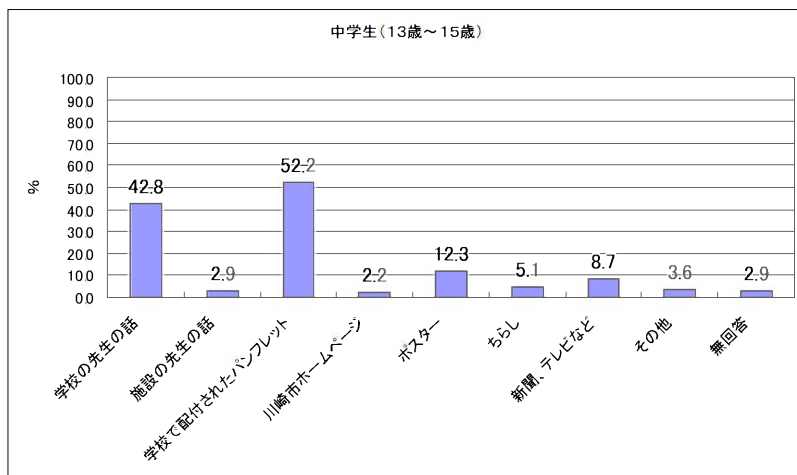
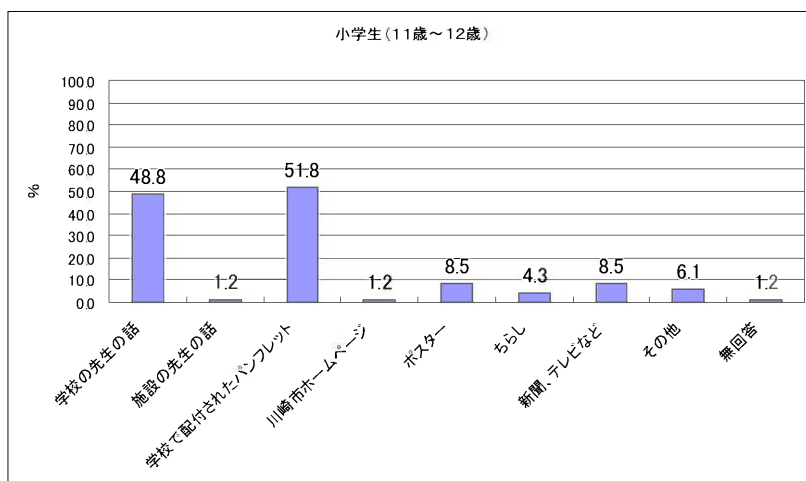
かわさきし こ けんりじょうれい ほうほう し
Q1-2 川崎市子どもの権利条例をどのような方法で知りましたか。

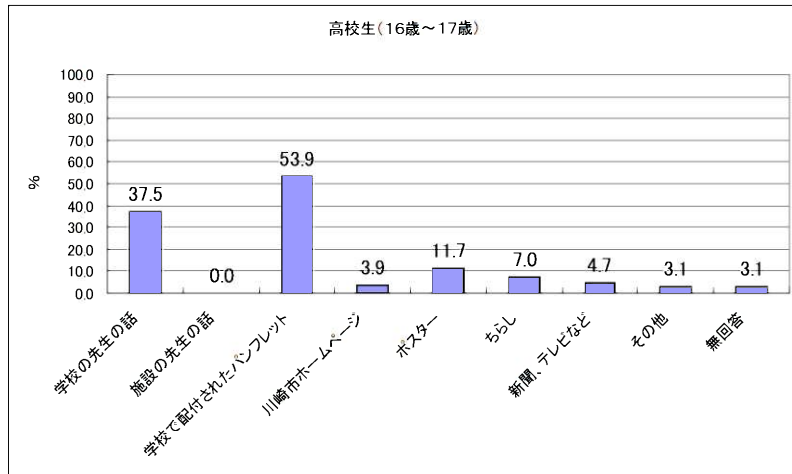
(あてはまるものすべてに○)

1	がっこう せんせい はなし 学校の先生の話	2	しせつ せんせい はなし 施設の先生の話	⇒Q1-3へ	
3	がっこう はいふ ばんふれっと 学校で配布されたパンフレット	4	かわさきし 川崎市	5	ぼすたー ポスター
7	しんぶん てれび 新聞、テレビなど	8	た ぐたいてき その他(具体的に:	6	ちらし ちらし)

⇒Q2へ

図25 【子ども一年齢別】





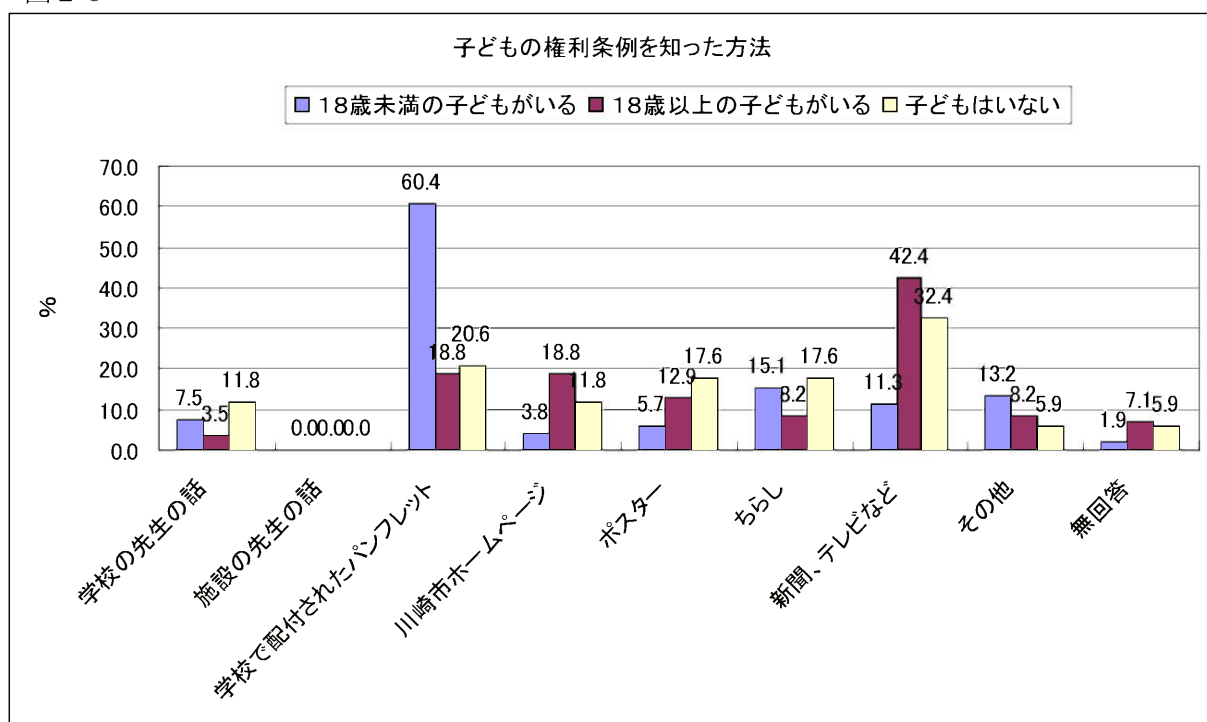
<その他回答>

11歳	女	権利に関係ある人から。
12歳	女	授業。
11歳	男	お母さんとかが言っていた。
12歳	女	教科書。
11歳	男	覚えていない。
11歳	男	誰かから聞いた。
12歳	女	本(題名は忘れてしまった)。
11歳	女	本(ハードボイス)。
11歳	男	フロンターレの下敷き。
13歳	男	友だちから。
15歳	女	子ども国会(会議)。
12歳	女	学校の道徳の授業で少しやった。
13歳	女	インターネット。
15歳	男	インターネット。
17歳	女	今回のアンケート。
16歳	女	友だちから聞いた。
16歳	女	親。
16歳	女	気づいたら知っていた。
15歳	男	川崎市子ども会議。

② おとな

「18歳未満の子どもがいる」おとなで最も高いのは、「学校で配布されたパンフレット」(60.4%)である。「学校で配布されたパンフレット」を見る機会がないと思われる「18歳以上の子どもがいる」おとなや「子どもはいない」おとなでもっとも高い回答は、「新聞、テレビなど」(「18歳以上の子どもがいる」おとな：42.4%、「子どもはいない」おとな：32.4%)であった。それ以外では「川崎市ホームページ」「ポスター」「ちらし」があがっているが、約2割であった。

図26



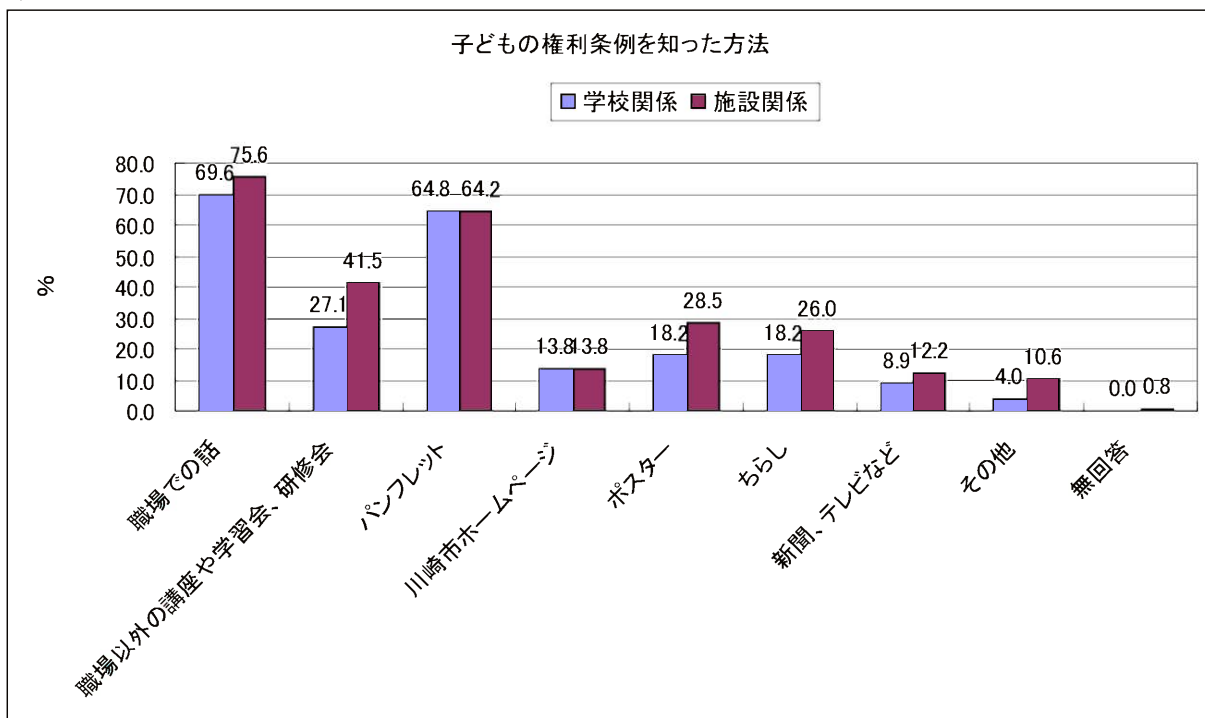
<その他回答>

60歳代	男	市発行のPR紙(市だより)。
40歳代	女	子どもリーダー研修で子どもが話し合いに参加。
30歳代	男	市政だよりとか。
30歳代	男	母子手帳。
60歳代	男	インターネット。
50歳代	女	政党の人から聞きました。
30歳代	女	子どもの保育園。
40歳代	女	自主保育の活動を通じて。
60歳代	女	子ども権利条例の学習会で。
60歳代	男	仕事で。
30歳代	女	知人から。
50歳代	女	知人から聞いた。
60歳代	女	会合で。

③ 職員

学校関係の職員、施設関係の職員ともに、「職場での話」「パンフレット」が高かった。施設関係の職員は、「職場以外の講座や学習会、研修会」も41.5%と比較的高い回答であった。

図 2 7



<その他回答>

施設関係	20年以上30年未満	女	母子健康手帳。
学校関係	1年以上5年未満	男	学生時代に学校で。
施設関係	10年以上20年未満	女	回覧物。
施設関係	20年以上30年未満	女	子どもの学校からのお便り。
学校関係	10年以上20年未満	男	子ども会議。
施設関係	1年以上5年未満	女	学校からのお手紙。
施設関係	5年以上10年未満	女	子どもが学校からもらったパンフレット。
学校関係	30年以上	女	市政便り？
施設関係	5年以上10年未満	女	イベント集いなど。
施設関係	5年以上10年未満	女	市職員の研修にて。
施設関係	30年以上	女	組合。
学校関係	1年未満	男	以前、川崎市子ども夢パークに勤めていた。
施設関係	20年以上30年未満	女	職場からの研修。
施設関係	10年以上20年未満	女	自分の子どもの学校から。
学校関係	10年以上20年未満	女	研修。
学校関係	10年以上20年未満	女	小学生の息子の話から。
学校関係	20年以上30年未満	男	授業を行いました。
施設関係	5年以上10年未満	女	以前勤めていた職場(保育園)での話。
施設関係	20年以上30年未満	女	職務上。
施設関係	5年以上10年未満	女	職場での研修(現職と以前の職両方)。
学校関係	20年以上30年未満	女	「川崎市だより」(地域紙)。
学校関係	1年以上5年未満	女	「川崎子ども夢共和国」への関わり。
学校関係	30年以上	女	授業で指導した。